

海津木苑運営委員会（平成 29 年度 2 月期）

会議録

1. 日 時： 平成 30 年 2 月 21 日（水）14 時 55 分 開会
2. 場 所： 古賀市海津木苑 会議室

3. 出席委員（13 名）

委員長	結城 弘明	副委員長	清原 留夫
委員	簗原 弘二	委員	奴間 健司
委員	田中 英輔	委員	安武 正一
委員	清原 透	委員	三好 収
委員	池見 直喜	委員	森 里子
委員	横田 昌宏	委員	松尾 佳久
委員	小山 貴史		

4. 欠席委員（智原委員）

5. 傍聴者数（1 名）

6. 事務局出席職員職氏名

市民部長	野村 哲也	環境課長	智原 英樹
海津木苑場長	伊東 孝廣	海津木苑係長	吉田 義昭
海津木苑職員	国本 勝喜		

概要

14:55 開会

1. 古賀市あいさつ
2. 委員長あいさつ
3. 協議事項及び報告

- (1) 会議録について（事務局より説明）

- ① 12 月期運営委員会会議録

資料.1

- ② 2 月期運営委員会会議録署名（結城委員長・田中委員）

【質疑・意見】 なし

- (2) 海津木苑運営に関する実施状況（事務局より説明）

- ① 平成 29 年 12 月及び平成 30 年 1 月の処理状況について

資料.2

[質疑]

委員 : 前年同月の処理量は変わらないが、薬品料金が若干違うが処理方法等変わったのか。

[答弁]

海津木苑 場長 : 水処理用薬品ポリテツ E これは、処理水の色度・リンを落とす薬品で添加率が今年度上がっている。添加率については、適正に注入しているが今年度添加率が高くなったことで薬品料金が増えたと考えている。

[質疑]

委員 : 設備機械的に機能が落ちているのが原因なのか。

[答弁]

海津木苑 場長 : そうではない、生物処理を行いし尿中のウロビリ色素を薬品により色度・リンを落としていますが、落ちないために添加率を上げて色度・リンを落としています。

(3) 海津木苑施設等啓発について 資料.3-1 資料.3-2 (事務局より説明)

[質疑]

委員 : 感想のところ、アンケート用紙項目にご要望欄等あれば次の課題に活かせる。今回映画の音量が小さいと感じた。次につながる改善点等探りながら次回に活かしていただきたい。

[答弁]

海津木苑 係長 : 貴重なご意見を今後検討していきたい。

4. その他

[質疑]

副委員長 : 2月1日、臨時運営委員会で市長が建て替えについて鹿部区へお願いした話があった。1月25日に古賀市長が鹿部区へ建て替えについてお願いをしているところで、鹿部区より回答となるのか今後の話しを継続していくためにどのように進めていくのか。

[答弁]

市民部長 : 1月25日に古賀市長より鹿部区へ、正式に海津木苑の場所をお願いをしている。大切に大きなお願いをしており、鹿部区の方で区民の方々の合意形成等時間も掛かると思う。市としてお願いをしていることから、鹿部区より返事待ちをしている。しかし時間的に余裕がないため経過については、区長との協議、代表者会議（鹿

部区代表者・議員)で話しをさせていただいており、今後とも精力的に協議をおこないたい。

[要望]

副委員長 : 私は、当初から係わり古賀市が昭和 55 年に鹿部区にお願いに来た。当時は、町長はじめ一生懸命お願いをした。今と状況は違うと思うしかし、双方動かないと進まないため、市がお願いをしているので市の方から区へ積極的に動いていただきたい。

[意見・報告]

委員 : 1月25日に古賀市長からのお願いは重く受け止めている。2月14日に高田からきた経緯等について区の評議員会で副委員長より話を聞いている。35年前とは違う受け止め方をしている。海津木苑の受け入れについては、役員交代をしても協議には参加していこうというところで進行中である。

18期運営委員もあと1回の運営委員会となり、4月期の運営委員会では区のスタンスの報告をしたい。4者を軸に協議を行い、区民の同意をまとめる大変な作業となるが根本は、啓発の関係等35年前を忘れないよう取り組んでいく段階であり途中報告とする。

[質疑]

委員 : 議会から3名運営委員会に入っており確認したいが、2月1日の臨時運営委員会で大事な決定の報告がされ、し尿処理と組み合わせたバイオマス発電は断念し将来構想については、引き続きこの地で建て替えの方向性が出されたと思う。

今後においては、議会も最善の結果が出るよう一緒に取り組むよう強いご意見をいただき議会代表としても担っていく思いでいる。2018年度の施政方針が事前配布され、海津木苑の将来構想についての平成30年度市の取り組みについては、明確に触れられてなく、し尿処理と組み合わせたバイオマス発電を断念することも触れられていない。

施政方針作成時期と最終決断が、微妙な時期だったので間に合わなかったために、記載出来なかったのか間に合ったが、詳細は記載する必要がないとの判断で記載しなかったのか。まとまって行こうとしても方向性が触れられていないため、平成30年度どのように進めていくのか正式に分からない。事務局の意見を伺いたい。

[意見]

副委員長 : 施政方針が出されたこと我々には分からないことで、議員に事前配布されている状況であり委員長預かりで進めていただきたい。

[質疑]

委員 : 2月1日の臨時運営委員会で市長が説明した中身は、市民にも説明すべきことであり、その中身に差があるのか聞いている。施政方針の中にし尿処理に関連して古

賀市生活排水処理基本計画を見直すと共にとあるが、生活排水処理基本計画を見直すと言うことが、1日当たり25キロリットルの容量を見直すことを意味している。

生活排水処理基本計画を見直すという言葉は、運営委員会では将来構想に伴って十分説明があったのか。運営委員会で議論した将来構想は結論的に生活排水処理基本計画の見直しにつながるということか。

[答弁]

市民部長 : 施政方針は基本的に、市長の思いを記述している主な事業について予算に引き付けて記載している。計画の見直しは海津木苑を建て替えていくために、必要な計画の見直しと理解していただきたい。

15:45 閉会

※ 次回の運営委員会は、4月を予定しております。

以上

この会議録が正確であることを証明するため会議録署名人次に署名捺印する。

平成30年 月 日

委員長

印

委員長の指名する
出席委員

印